



## 江崎鐵磨内閣府特命担当大臣 鳴門教育大学を視察

平成29年8月24日(木)、消費者庁の江崎鐵磨(えさき てつま)内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)が、鳴門教育大学を視察に訪れました。

本学が推進する「消費者教育推進プロジェクト」について、坂本有芳プロジェクト・リーダー(大学院学校教育研究科 准教授)から説明し、この後、山下一夫学長らと懇談いたしました。

本学は、このことを一つの励みとして、消費者庁や徳島県などと連携し、消費者教育を一層推進していきます。



坂本准教授(右)から説明を受ける江崎大臣(中央)

### 鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクトについて

本学では平成28年7月に、「鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクト(プロジェクト総括・大石雅章理事)」を立ち上げ、消費者庁、徳島県との協力体制のもと、行政機関や学校、市民団体などと連携しながら、消費者教育の先進拠点として、様々な取組を行っています。

本プロジェクトは、様々な分野で消費者教育を実践できるよう本学の教員、附属学校教諭、事務職員など33名で構成されており、「効果的な消費者教育の内容・方法の検討と実践」のため、右の3つを柱として、取り組んでいます。

#### プロジェクトが取り組む三つの柱

- 1 消費者教育を担う教員の養成
- 2 地域連携による消費者教育の推進
- 3 消費生活に関する学術研究

## 鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクトの取組

### ◆徳島県との連携



平成29年7月  
公開シンポジウムを日本テレワーク学会と共催。  
飯泉嘉門徳島県知事と日下部英紀消費者庁参事官が講演。  
(講演を行う飯泉徳島県知事)

### ◆消費者庁との連携



平成29年7月 (全4回)  
消費者庁職員を特別講師に迎えて、消費者行政や消費者トラブルに係る大学院授業(公開授業)を実施。  
(講義を行う川口康裕消費者庁次長)

### ◆附属図書館でテーマ展示



平成29年6月～9月  
附属図書館の消費者教育関連図書を充実させ、テーマ展示「消費者教育」を開催。さらに、大学ギャラリーにおいて、プロジェクトの成果(報告パネル展)を開催。

### ◆県及び民間人材との連携



平成29年8月～(全5回)  
初回は、徳島県、民間人材と協働で、親子向けワークショップ「イオンdeエシカル消費」を実施。鳴教大生もスタッフとして参加。  
(商業施設内でエシカル消費について理解を深める参加者)

### PR エシカル消費の推進に向けて

本プロジェクトの事業が、**文部科学省 平成29年度「連携・協働による消費者教育推進事業」における消費者教育のための実証的共同研究として採択**され、エシカル消費への転換を促すため、徳島県や民間人材と連携した地域協働プログラムの開発を進めています。

## エシカル消費って、なに？

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会や環境、地域等に配慮した消費行動のことを言います。消費を通じて持続可能な、より良い社会づくりへの貢献を目指すものです。

#### 環境への配慮

- グリーン購入
- 自然エネルギー利用
- エコマーク等付き商品
- 有機農産物、国産材など地球環境を思いやる消費



#### 人への配慮

- 障がい者が作った商品
- 寄付金付き商品
- 地域紛争や児童労働といった人権問題等の解決に寄与する商品を消費



#### 地域への配慮

- 被災地への応援消費
- 地産地消(伝統文化・産業等)
- 地域資源・人材活躍等地方創生に資する消費



鳴門のれんこん 藍染製品(阿波藍)

一人ひとりが、エシカル消費を実践することが大切です



消費者庁イラスト集より

## 三木 亨 参議院議員と山下学長が懇談

平成29年8月24日(火)、三木 亨(みき とおる)参議院議員(自由民主党:徳島県選挙区)が、江崎鐵磨大臣の本学視察と日を同じくして、本学を視察に訪れ、山下一夫学長、大石雅章理事、岩切健一郎理事と懇談されました。

山下学長からは本学のいじめ問題への取組、日本型教育の海外展開や地域貢献等、教師教育のリーダー大学としての特色について説明があり、教員養成系大学を取り巻く諸課題や大学改革の進捗状況等について意見交換をしました。

山下学長と懇談する三木亨参議院議員(右)



## 佐那河内村と連携協力に関する協定等を締結

7月7日(金)、徳島県名東郡佐那河内村と地域社会の発展や人材育成に寄与することを目的とした連携協定を締結しました。

また、本協定に則して、同日付けで佐那河内村教育委員会、佐那河内小・中学校、鳴門教育大学小学校英語教育センターが「佐那河内村の英語教育の発展等のために行う連携協力に関する覚書」を交わしました。

同村教委は、平成30年度に導入予定の小中一貫教育で英語教育の強化を目指しており、小学校英語教育センターは村教委などと共に英語教育の戦略策定や、指導者の育成に取り組んでいきます。

締結式において、山下一夫学長及び岩城福治村長が、「英語力を持った個性ある子どもたちを一緒に育てていきたい」と抱負を語り合いました。



覚書を交わす福岡俊和 佐那河内村教育委員会教育長 (左)  
大島千文 佐那河内小・中学校校長 (中央)  
山森直人 小学校英語教育センター所長 (右)

## 開発途上国への教育力向上のための教育支援を推進

本学は開発途上国への教育力向上に貢献するため、新たに次の覚書等を締結しました。

### 6月30日(金) JICA(独立行政法人国際協力機構)と「ジャマイカ算数教育の質の改善計画」に係る覚書を締結

本学はJICAと連携し、受託研修や専門家派遣など幅広い国際教育協力活動に取り組んでいます。

この覚書により、本学学生を長期又は短期JICAボランティアとして、同国への派遣が可能となりました。

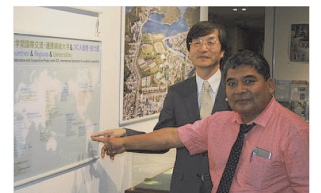


覚書を持つ高橋JICA四国支部長(左)と山下学長

### 5月26日(金)サンファン市教育委員会(ボリビア多民族国)と草の根技術協力プロジェクト実施に係る基本合意書に署名

基本合意書に基づき、JICAと共同して「総合的学習及び数学論理的思考教育の向上計画」に取り組み、現地の教育力向上に貢献します。

本学は、これからも開発途上国への教育力向上に寄与するとともに、学生が国際教育協力活動に積極的に関わっていく機会をつくることで、グローバルな視点を有する教員の養成に取り組めます。



本学を訪問する  
シロ・リバス教育長(サンファン市)

## 平成29年度 鳴門教育大学優秀教員表彰式・特別表彰式を挙行

10月2日(月)、平成29年度鳴門教育大学優秀教員表彰式並びに特別表彰式を行いました。

優秀教員表彰は教育・学生生活支援、研究等において優秀な教員を、特別表彰は顕著な功労等のあった職員を表彰しています。

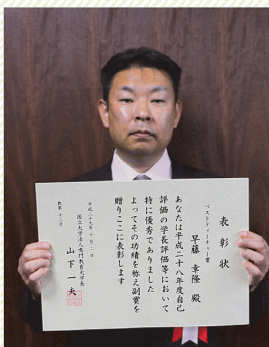
表彰式では、優秀教員2名がベストティーチャー賞を受賞し、教員1名が特別表彰を受けました。



### 優秀教員 (ベストティーチャー賞)

さかもと ゆか  
**坂本 有芳 准教授**  
生活・健康系コース(家庭)

消費者庁や徳島県等の関係機関と連携した本学及び地域における消費者教育の推進に係る取組を評価



### 優秀教員 (ベストティーチャー賞)

はやふじ ゆきたか  
**早藤 幸隆 講師**  
自然系コース(理科)

科学技術人材育成の観点における教育プログラムの開発研究に連動した理数科の教育研究活動の実績を評価



### 特別表彰

もり なおみ  
**森 真美 准教授**  
芸術系コース(美術)

就職支援室チーフコーディネーターとして、教員養成のための実践的な教育活動の中核を担い、教員就職率7年連続全国第1位達成に大いに貢献した功績を評価

## BPプロジェクト(いじめ防止支援プロジェクト)徳島大会を開催

平成29年8月8日(火)、本学講堂において、平成29年度BPプロジェクト第1回徳島大会を開催しました。

本大会は、第43回鳴教大教育・文化フォーラムとの共同開催となり、鳴門市の悉皆(しっかい)研修にも指定され、またテレビ会議システムによる同大学サテライト(阿南・美馬の各会場)へのライブ配信を行うことで、鳴門市教員のほか、県内外の教育関係者、大学生、一般など約490人の参加がありました。

「いじめを考える」をメインテーマに、山下一夫学長と本学教職大学院の阪根健二教授によるいじめ対応・いじめ問題に対する熱意溢れる講演に、参加者は真剣に耳を傾けていました。



山下一夫学長



阪根健二教授

## 鈴鹿市・鳴門教育大学連携教育フォーラム2017「チーム学校で進める授業改善」

平成29年8月20日(水)、三重県鈴鹿市内において「鈴鹿市・鳴門教育大学連携教育フォーラム2017」が開催され、山下一夫学長や末松則子鈴鹿市長、中道公子(なかみちこうこ)鈴鹿市教育委員会教育長、上村由美(うえむらゆみ)三重県総合教育センター研修企画・支援課長らが出席したほか、鈴鹿市内の公立学校教員など約200人が参加しました。

本学と鈴鹿市教育委員会は平成23年に連携協定を締結して以来、市大連携事業を通じて学力の向上、教職員の資質向上、学校づくりの活性化等の推進に取り組んでおり、フォーラムは同事業の一環として実施されたものです。

フォーラムでは、本学教職大学院の前田洋一教授の基調講演「チーム学校で進める授業改善」、市内公立中学校教諭の実践発表が行われたほか、パネルディスカッションでは、会場と本学をインターネットで結び、中道教育長や本学教職大学院の泰山裕講師ら6人が「チーム学校として取り組む授業改善の今後」をテーマに、新学習指導要領を見据えた授業改善の方向性や、組織力向上に向けた手立てなどについて討議を行いました。

このフォーラムは、鳴門教育大学においてもライブ配信され、大変有益なものとなりました。



末松則子鈴鹿市長



前田洋一教授



鳴門教育大学からインターネットを通じてディスカッションに参加する泰山裕講師(スクリーン)

### 鳴門教育大学学歌動画を YouTube にて公開中

《撮影協力》

合唱団 'tadpole', 鳴響連, 児童文化研究会, 鳴教学生日本語教室の皆様ほか



鳴門教育大学【公式】YouTube 🔍 検索

### 掲載広告募集について

鳴門教育大学では、鳴教かわら版に広告を掲載される広告主を募集しております。掲載を希望される方は、下記までご連絡ください。

詳しくは、本学公式ウェブページを御確認ください。

〈連絡先〉 企画課企画広報係

E-mail kikaku@naruto-u.ac.jp

